

1 取り付け位置を確認する

設置上のお願

カメラの取付場所について

- 取付場所は丈夫な壁面や天井面などをよく選んで設置してください。
- あらゆる方向からの直射日光や風雨が当たるような場所への設置は避けて、建物の外壁などに設置してください。

以下のような場所での設置および使用はできません

- フルタイム薬剤を使用する場所
- 湿度やこり、蒸気や油分の多い場所
- 溶剤および可燃性気体などの特殊環境の場所
- 放射線やX線および強力な電波や磁気の発生する場所
- 海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
- 使用周囲温度（-20℃～+50℃）を超える場所
- 車両や船舶などの振動が多い場所（本機は車載用ではありません）
- エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所（レンジカバーが曇ったり、結露したりする場合があります）

使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください。

設置作業の前に

- 本機を木製天井や壁面に取り付ける場合は、付属のねじBを使用してください。木製部以外に取り付ける場合は、取付場所の材質や構造、総重量を考慮して別途ねじをご用意ください。
- 設置する面および使用するアンカーやねじは、十分な強度を確保してください。
- 石こうボードや木部は、強度が弱いので取り付けてください。やむを得ず取り付ける場合は、十分な補強を施してください。

カメラの電源を入/切できるように電源工事をしてください

本機には電源スイッチがありませんので、電源工事の際は、カメラの電源を入/切できるように設置してください。

ネットワーク接続について

ネットワークケーブルでネットワークに接続する場合は、ネットワークが雷の影響を受けないように配線設置してください。

取付ねじの締め付けについて

- ねじやボルトは、取付場所の材質や構造物に合わせて、しっかりと締め付けてください。
- インパクトドライバーは使用しないでください。ねじの破損や締めすぎの原因となります。
- ねじはまっすぐ締めてください。締めあはとは、目撃にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

木製部用以外の取付ねじは別途ご用意ください

本機に付属のねじ（ねじB）は木製部専用の取付ねじです。取付場所のねじ引強度は、1本あたり294 N（30 kgf）以上が必要です。

カメラ本体内部のねじは外さない（ゆるめない）でください

カメラ本体内部のねじをゆるめると、故障や落下事故の原因となります。

電波障害について

テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランス、電力線など）の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。

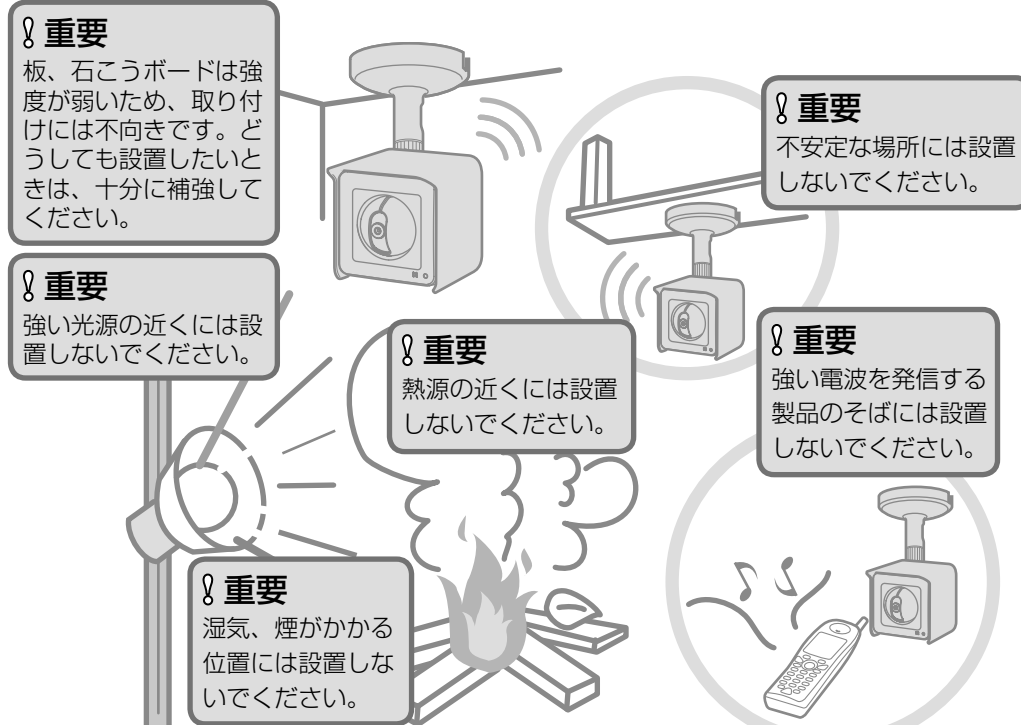
ルーターについて

本機をインターネットに接続する場合、ルーターを使用するときは、ポートフォワーディング機能（NAT、IPマスカレード）付きのプロキシ/ルーターを使用してください。ポートフォワーディング機能の概要については、「取扱説明書 操作・設定編」（CD-ROM内）をお読みください。本機を無線接続する場合、無線暗号化設定は、暗号化強度が高いWPA2-PSK(AES)がWPA-PSK(AES)を設定することを推奨します。

時刻設定について

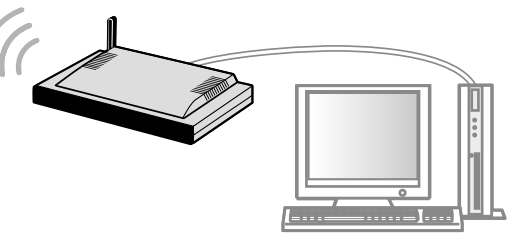
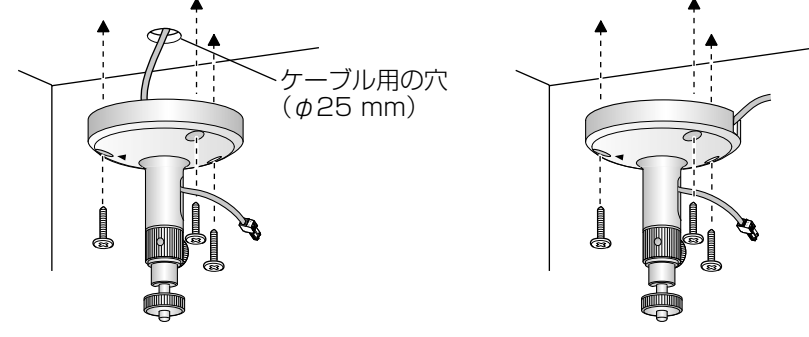
本機は運用開始時に時刻の設定が必要です。時刻の設定については、「取扱説明書 操作・設定編」（CD-ROM内）をお読みください。

2 カメラの取り付け位置を決める



ケーブルの通り方を決める

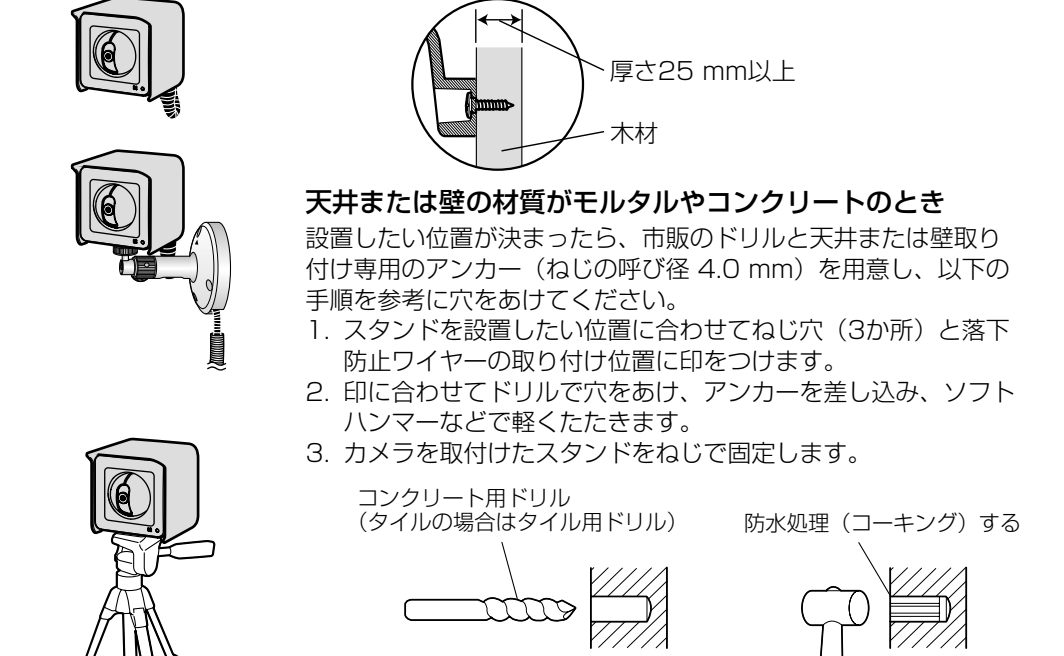
ケーブルを天井や壁の中を通すときは、ケーブル用の穴（φ25 mm）をあける必要があります。



- 無線接続をご利用になる場合は、取り付ける前に無線ルーターとの無線接続を事前に行ってください。
- 取り付け位置から無線ルーターに無線接続できるか、事前にご確認ください。詳しくは「3 カメラを接続する」を参照してください。

取り付け方を決める

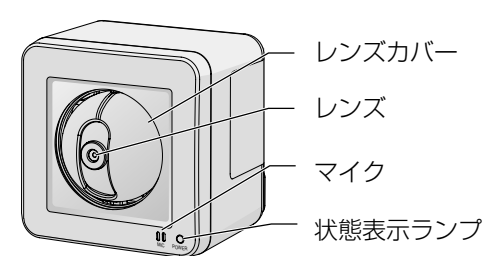
■天井または壁に取り付ける
カメラの自重で落ちることのないように、厚さが25 mm以上ある木材の部分または梁があるところを選んでください。厚さが25 mm以上ない場合は梁がない場合は、天井または壁の裏側に当板を使うなどしてください。



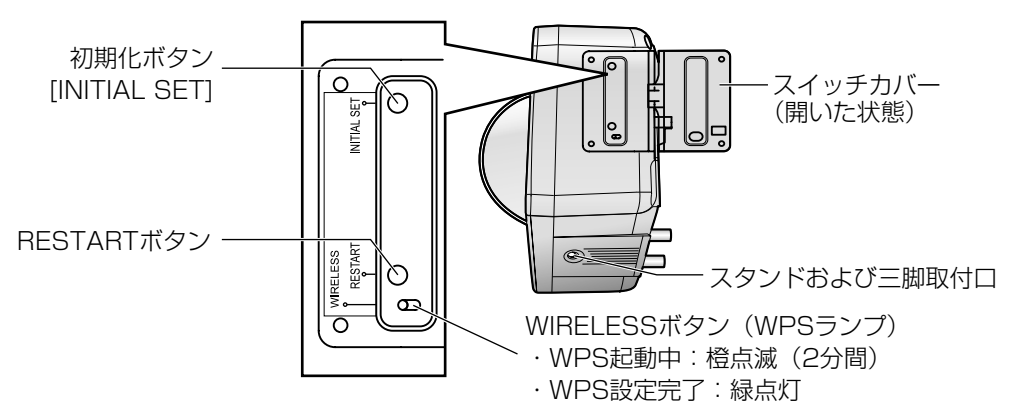
■三脚に取り付ける
一般的なカメラで使う三脚（市販品）に取り付けることもできます。

2 各部の名前

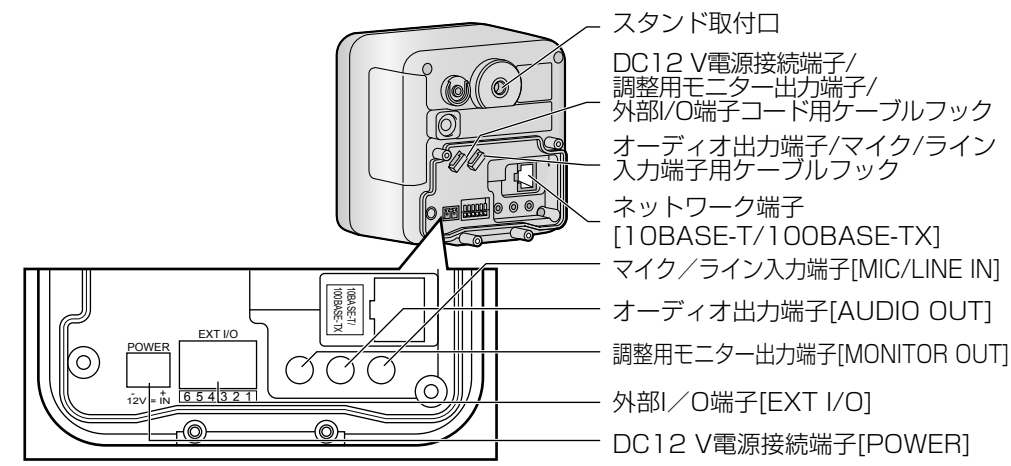
<前面>



<側面と底面>



<背面>



外部/I/O端子の説明

ピン	機能
6	DC電源出力 ・電源出力電圧12 V ・電源出力電流100 mA
5	GND
4	GND
3	外部/I/O端子3 (ALARM IN3/AUX OUT)
2	外部/I/O端子2 (ALARM IN2/ALARM OUT)
1	外部/I/O端子1 (ALARM IN1)

初期化ボタンについて

本機の電源を切り、初期化ボタンを押しながら本機の電源を入れてそのまま初期化ボタンを5秒間押し続けてください。本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。状態表示ランプの点滅（橙）が消灯したら、初期化終了です。必要に応じて事前に設定データをメモなどに書き写しておくことをお勧めします。ただし、プリセットポジションの内容、HTTPSで使用するCRT鍵は初期化されません。

- 重要
初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。

RESTARTボタンについて

電源が入っている状態で、RESTARTボタンを押してカメラを再起動することができます。先の細長い棒状のもので、RESTARTボタンをゆっくりと約1秒間押し続けてください。カメラがピン/チルトの初期動作をするまで再起動は完了です。

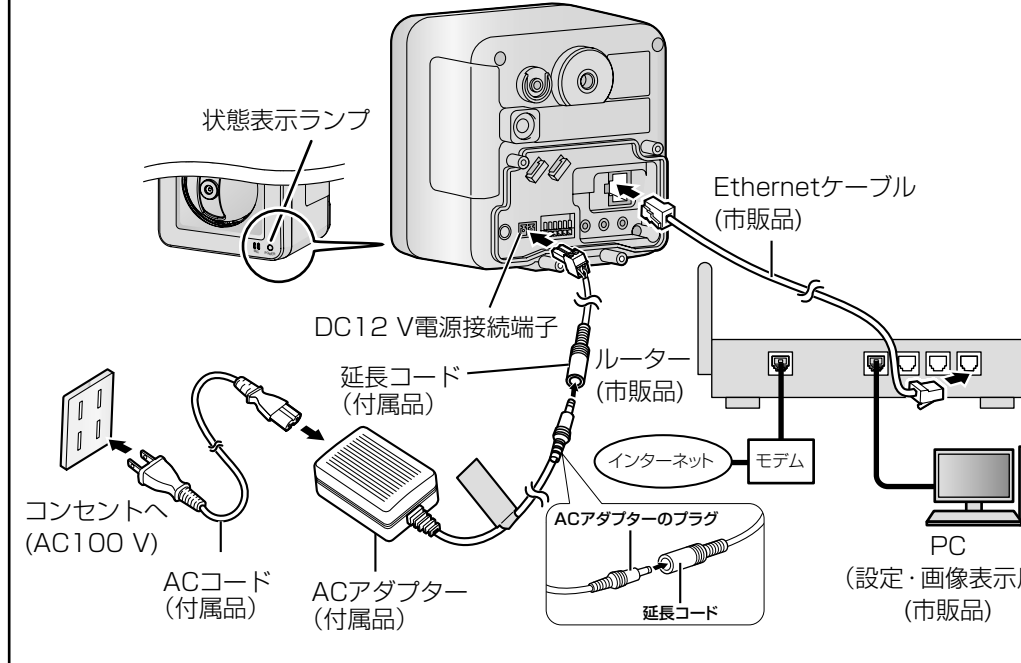
状態表示ランプとWIRELESSボタン（WPSランプ）について

状態表示ランプとWIRELESSボタン（WPSランプ）の詳細については、「取扱説明書 操作・設定編」（CD-ROM内）の「基本設定を行う【基本】」をお読みください。

3 カメラを接続する

Ethernetケーブルを使用して接続する場合

あらかじめ、PCはルーターを通じて、インターネットに接続できる状態にしておきます。



- 1 Ethernetケーブル（市販品）をカメラのネットワーク端子とルーターのLANジャックに接続する
無線で接続する場合は、Ethernetケーブルをネットワーク端子に差し込まないでください。詳しくは「無線LANを使用して接続する場合」を参照してください。
- 2 延長コードの先端に電源用端子台（付属品）を接続する
接続方法については「電源用端子台を接続する」を参照してください。
- 3 延長コードとACアダプターのプラグを接続する
延長コードのジャック側にACアダプターのプラグを、根元までしっかり差し込みます。
- 4 電源用端子台を本体後面のDC12 V電源接続端子に差し込む
- 5 ACアダプター（付属品）とACコード（付属品）を接続して、ACコードのプラグをコンセントに差し込む

カメラの電源が入り、カメラレンズが動きまわります（動作音が聞こえます）。ネットワーク設定が完了したら状態表示ランプが点滅減から点滅灯に変わります。

カメラの接続が完了した後は、「カメラを設定する」(チラシ)を参照してカメラの設定を行ってください。

電源用端子台を接続する

- 1 電源用端子台（付属品）のねじをゆるめる
- 2 電源用端子台に出力ケーブルを接続する
出力ケーブルの外皮を3 mm～7 mm切断し、ショートなどしないように、芯線をよくよじってください。
※外皮を切断したしん線が電源用端子台から露出せず、確実に接続されていることを確認してください。
- 3 電源用端子台のねじを締める

- 重要
ACアダプターは専用のACアダプター（付属品）を使用してください。
電源用端子台は、必ず付属品を使用してください。
電源用端子台に延長コードを接続するときは、極性を間違えないように注意してください。極性を間違えた場合、故障や誤動作につながるおそれがあります。
電源用端子台は、DC12 V電源接続端子の奥まで確実に差し込んでください。接続が不確実な場合、故障、誤動作につながるおそれがあります。

警告

- ACアダプター、ACコード、延長コードをぬらさない（ACアダプター、ACコードは防水構造ではありません）
発火、感電の原因となります。
水ぬれ禁止 ○ぬらした場合は手を触らず、販売店へご相談ください。

無線LANを使用して接続する場合

本機のWIRELESSボタン（WPSランプ）を使って、無線の自動設定を行います。

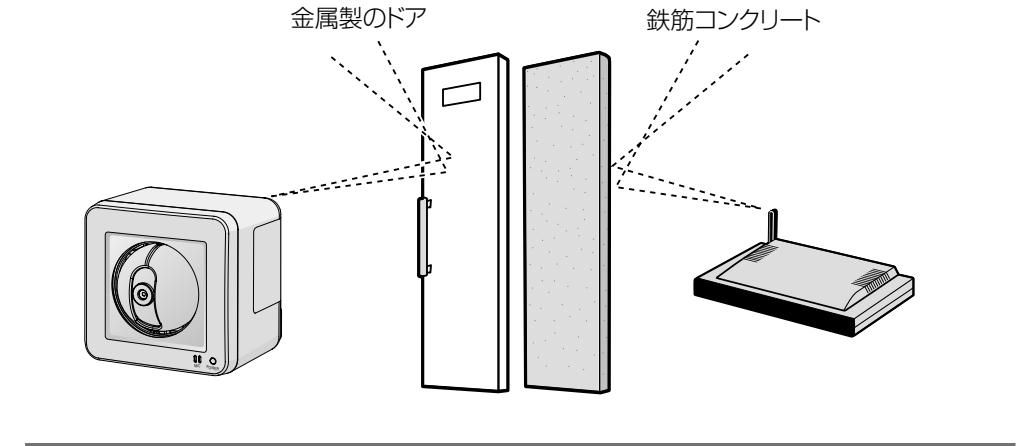
- 1 本機の無線機能を有効にするために、Ethernetケーブルを本機に接続せず電源を入れる
カメラがピン/チルトの初期動作を行ったあと、状態表示ランプが点滅減から点滅灯になり、電源投入後約90秒で状態表示ランプが点滅灯し、本機が無線LANモードで起動します。
- 2 無線ルーターの取扱説明書を参照し、WPS機能（PBC方式）をONにする
- 3 本機のWIRELESSボタンが点滅減するまでWIRELESSボタンを約1秒以上押し
●本機と無線ルーターが無線の自動設定を開始し、最大約2分間動作します。
●無線の自動設定が成功すると、WIRELESSボタンが点滅減から点滅灯し、約5秒後に再起動します。
●再起動中、WIRELESSボタンは消灯し、約90秒後に無線接続が完了すると再度点滅灯します。無線設定が更新されます。

- 重要
無線ルーターがShared Key認証方式に設定されているとWPS機能は使用できません。
無線ルーター等でESS-IDステータス機能（SSIDの暗号）を使用する設定をしている場合、WPS機能での設定はできません。
●WPS設定での設定中は、無線ルーターにおいて他の無線接続が一旦切断されることがあります。
●無線ルーターで、MACアドレスフィルタリングを使用する設定になっている場合は、WPS設定での設定ができないことがあります。無線ルーターの設定を確認してください。
●無線ルーター等で、接続する無線LAN端末がない状態で[WPS設定]を行った場合、2分間で自動的にキャンセルされます。（ご使用の無線ルーターを確認してください。）
●同一ネットワーク上に複数のWPS-ON状態の無線ルーター（Registrar）がある場合、WPSの自動設定が失敗することがあります。

カメラの接続が完了した後は、「カメラを設定する」(チラシ)を参照してカメラの設定を行ってください。

無線通信の使用範囲について

- 次のような機器と同時に本製品を使用しないでください（電波が混信したり、誤動作の原因になります。）
- 特定無線局や移動通信機器のある屋内
 - 電子レンジの近くや、Bluetooth機器の近く
 - 盗難防止装置やPOSシステムなど2.4 GHz 周波数帯域を利用している機器のある屋内
- 本製品と無線機器の間に次のような障害物があるときは設置場所を変更してください（電波を通しにくい物質が周囲にあると、通信ができなくなったり通信速度が遅くなる場合があります。）
- 金属製のドアや雨戸、シャッター
 - トタン製の壁
 - アルミはく入りの断熱材が入った壁
 - コンクリート、石、レンガなどの壁
 - 防火ガラス
 - 壁を何枚もへだてたところ



外部/I/O端子

外部機器を接続します。ケーブルの外皮を9 mm～10 mm切断し、ショートなどがないように芯線をよくよじってから接続してください。

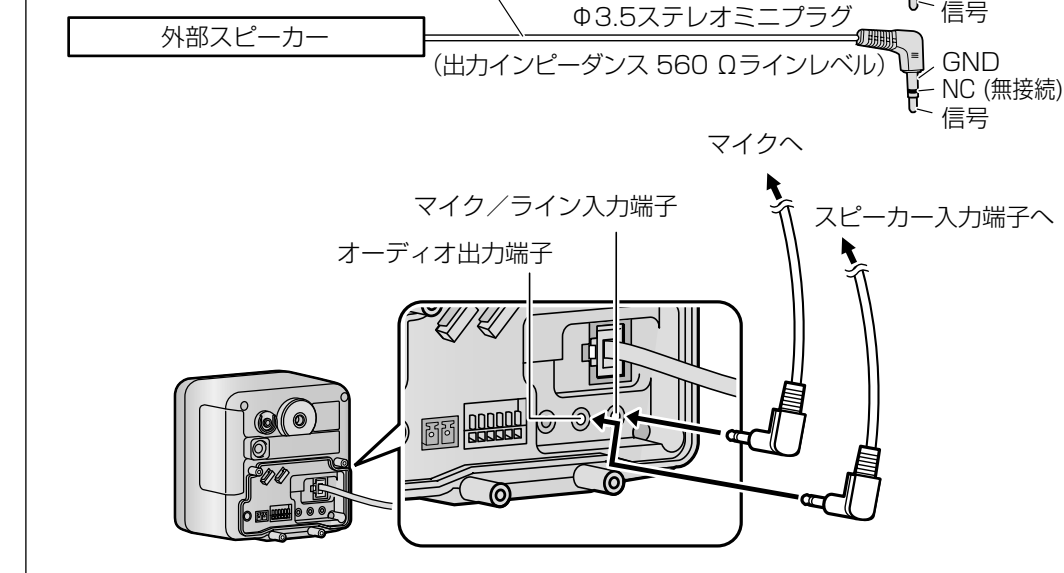
- 線材仕様：22 AWG～28 AWG
単線、より線

- 重要
1つの端子に2本以上の線を接続しないでください。2本以上接続する必要がある場合は、本機外部で線が分岐せず、接続してください。
●外部/I/O端子2と外部/I/O端子3は、入力端子/出力端子に切り換えることができます。外部/I/O端子2、3（アラーム2、3）の設定（OFF/アラーム入力/アラーム出力またはAUX出力（外部出力））については「取扱説明書 操作・設定編」（CD-ROM内）をお読みください。
●お買い上げ時、外部/I/O端子は「OFF」に設定されています。「OFF」設定時は入力設定と同様に外部機器を接続できます。
●外部/I/O端子を出力端子として使用する場合は、外部からの信号と衝突しないように注意してください。

- <定格>
●アラーム入力1、アラーム入力2、アラーム入力3
入力仕様：無電圧マイク入力（DC4 V～5 Vプルアップ内蔵）
OFF：オープンまたはDC4 V～5 V
ON：GNDとのマイク接続（必要ドライブ電流1 mA以上）
●アラーム出力、AUX出力
出力仕様：オープンコレクタ出力（外部からの最大印加電圧DC20 V）
OPEN：内部プルアップによるDC4 V～5 V
CLOSE：出力電圧DC1 V以下（最大ドライブ電流50 mA）

マイク/ライン入力端子・オーディオ出力端子

カメラに外部マイクやスピーカ（いずれも市販品）を接続して、音声を受話・送話できます。外部マイク用のコードは、7 m以内の長さのものを使用してください。コードの長さや、マイクの特性によって音質が低下することがあります。



調整用モニター出力端子

- 3.5 mmのミニプラグ（モノラル）を接続します（出画確認を行う場合のみ）。
- 推奨プラグ形状：L型

- 重要
調整用モニター出力は、設置時やサービス時にビデオ受像機で画角などを確認することを目的としたものです。録画および監視目的には使用できません。
●映像の外れに黒帯が見える場合があります（画角は変わらないため調整に支障はありません。）

4 カメラを設置する

カメラを設置する前に、カメラの設定が完了していることを確認してください。「カメラを設定する」(チラシ)を参照してください。

- 1 ケーブルをスタンド（付属品）の穴に通して、取り外した切り欠き部分に通す
●重要
切り欠き部分を取りはずさず、市販のPF管などで防水処理したケーブル類を固定するときは、市販のテープなどでスタンドの軸に巻きつけてください。その場合は、手順2へ進んでください。
- 2 ケーブル類をコネクタカバー（付属品）に通して接続し、ねじA（付属品）でコネクタカバーを取り付ける
コネクタカバーの推奨締付トルク：0.6 N・m（6.1 kgf・cm）
I/Oコネクタやスピーカ、マイクを使うときは、そのケーブルもコネクタカバーに通して接続してください。
- 3 カメラにねじAで日よけハウジング（付属品）を取り付ける
日よけハウジングの推奨締付トルク：0.6 N・m（6.1 kgf・cm）
- 4 防水スポンジ（付属品）でケーブルを巻き、コネクタカバーの出口から防水スポンジが約10 mm出るところまで押し込む
- 5 自己融着テープ（付属品）でコネクタカバーの出口から約20 cmの長さまでケーブルを巻く
防水スポンジの部分はしっかりと（3～4回）巻いてください。ケーブルを巻くときは、テープを2倍の長さまで引き伸ばして、重ねて巻いてください。三脚に取り付けるときは、三脚の高さに合わせて適当な長さまでケーブルを巻いてください。
●重要
通気口があります。ふさがないようにしてください。
●延長コードを使用するときは、延長コードの接続部分も自己融着テープで巻いてください。

天井または壁に取り付ける

実際にPC画面に表示された画像を確認しながら、カメラの適切な設置場所・向きを調整してください。

- 1 スタンドの底を天井または壁にあり、スタンドを固定する場所を決める
カメラの自重で落ちることのないように、厚さが25 mm以上ある木材の部分または梁があるところを選んでください。厚さが25 mm以上ない場合は梁がない場合は、天井または壁の裏側に当板を使うなどしてください。
- 2 カメラにねじAとワッシャー小（付属品）で落下防止ワイヤー（付属品）を取り付ける
- 3 締め付けナットをゆるめて、スタンド取り付けねじでカメラを取り付ける
●重要
締め付けナットをゆるめるときは、ワッシャー小（付属品）を取り付け、落下防止ワイヤー（付属品）を取り付けてください。

天井または壁にねじB（付属品）でスタンドを取り付ける

壁にスタンドを取り付ける場合は、▲印が上になるようにしてください。

- 1 ねじB（付属品）でスタンドを取り付ける
ねじBは165 mm以上、天井より165 mm以上上へ挿入してください。
（カメラが天井から落下し、取り付けできません。）
- 2 カメラの向き・角度を調整して、スタンドの締め付けナット、固定ねじで確実に固定する
固定ねじはカメラの向き、角度によって締め付け位置の変更が可能です。
- 3 落下防止ワイヤーの長さをたるみのない状態で調整し、ねじBとワッシャー大（付属品）で天井または壁に取り付ける
▼天井 ▼壁
PF管など（市販品）の中の水がたまりないように入り口を防水処理してください。